

トルコの金融市場動向 Weekly Report

【2017年9月16日～2017年9月22日までの推移】

【1】先週の回顧

先週のトルコ・リラ相場は1週間を通して見ると対米ドル、対円で下落しました。またトルコの2年国債金利は上昇しました。イラク北部のクルド人自治区において、独立の是非を問う住民投票が25日（現地）に行われる予定となっています。トルコは自国のクルド人の独立機運が高まることなどを懸念し、住民投票に反対しているため、国家安全保障会議を招集したほか、国境付近で軍事演習を行いました。これらを市場は嫌気し、債券・為替共に軟調な推移となりました。

【トルコ・リラ 為替推移】 (2017年8月25日～2017年9月22日)



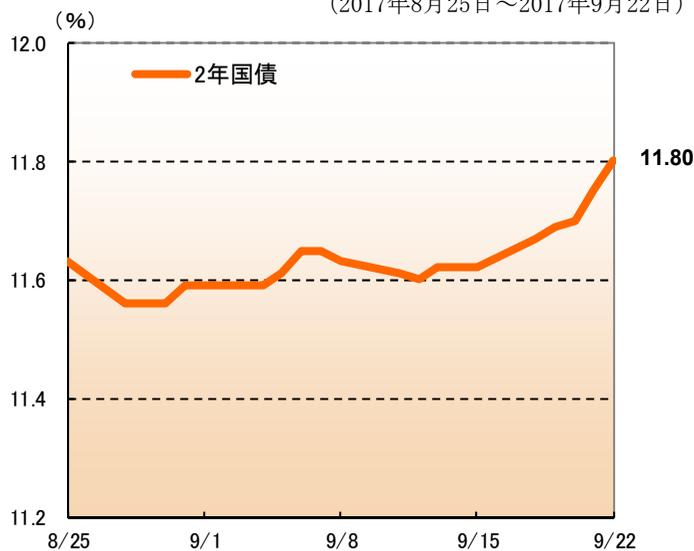
※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

【2】今週の見通し

今週は、8月貿易収支の発表が予定されています。イラク北部のクルド人自治区で行われる住民投票では、独立派が過半数を超えることが見込まれる一方、トルコを含む周辺国は、投票が実施された場合には対抗措置を行うと警告しています。トルコについては、イラク北部からの原油輸出制限など強力な経済制裁手段を有していることから、直ちに軍事的行動を行う可能性は低いと考えています。トルコがクルド人自治区の住民投票に対して強硬な姿勢を強めていることから、住民投票の結果およびその後の周辺国の反応に注目が集まりやすいと考えます。

【トルコ 金利推移】

(2017年8月25日～2017年9月22日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>